

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第75回研究会開催案内

日時： 平成25年4月25日(木) 18:30 - 20:30

場所： エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師： (株)アジアリーガルリサーチアンドファイナンス 代表取締役 宍戸徳雄氏

アジア総合法律事務所 弁護士 小山好文氏

略歴： (宍戸徳雄氏)：住友銀行(現三井住友銀行)を経て独立、商業施設のCFOなども経験しながら、上海、香港、台湾、ASEAN諸国へ数々の企業の進出を手掛けるアジアビジネスのスペシャリスト。特に飲食業、小売業の進出支援に多くの実績を持つ。業態に応じた現地でのリアルなビジネス構築(仕入ルートの確立、パートナー紹介、店舗開発etc.)に強みを持つ。また、同社はアジア総合法律事務所グループのシンクタンクとして、進出支援にとどまらず、アジア地域の法制度・判例調査なども行っている。国内では各種アジア関連セミナーを開催中。今年1月には、プレジデント社から「ミャンマー進出ガイドブック」を出版(共著)。上海、台北、ヤンゴン、福岡に拠点がある。

(小山好文氏)：アジアビジネス法の専門家。企業法務一般、M&A(事業再編)、ファイナンススキームの構築、アジア進出支援に強みを持つ。特に、ミャンマーについては早い段階から注力しており、中小企業を中心に、多数の進出相談が日々持ち込まれている。同法律事務所は、法律のインフラ整備により、アジアの国境をなくし、日本の企業が自由にビジネスをすることが出来る社会を創ることを目指している。上海、台北、ヤンゴンに拠点がある。今年1月にプレジデント社から「ミャンマー進出ガイドブック」を出版(共著)。「アジアビジネスブログ」も大好評。全国各地でアジア関連セミナーを開催中。



テーマ：「最新のミャンマーの経済情勢について」

概要： 今、世界中が注目するミャンマー。日本企業にとっても、今年は、ミャンマービジネス元年になりそう。麻生副総理は正月休み返上でミャンマー入りし、500億円の円借款の再開を約束し、日本経団連は、過去最大の140名の大視察団をミャンマーに送り、投資協定の早期締結や、インフラ整備の要請などを行い、日本企業による進出環境整備が、官民協力のもと、急ピッチで進められている。今年に入ってからも、王子製紙、スズキ、電通、日立など、大手企業がミャンマーへの進出発表をしている。そして4月13日~19日の日程で27年ぶりにアウンサンスーチー女史の来日が予定されており、ミャンマーと日本を巡る情勢変化は著しくスピードが早い。このような環境変化の著しいミャンマーについて、「ミャンマー進出ガイドブック」の著者が、最新のミャンマー事情を交え解説します。尚、現在注目されている昨年11月に成立した「改正外国投資法」や1月31日に公表された「改正外国投資法施行規則」「最新のMIC通達」については若干のコメントを行う予定です。

会費： 参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先： (株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話： 092-741-9338 **E-mail：** yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催： 一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催： 近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会